

平成3年
1月10日

第62号

発行集編
守谷町議会事務局
TEL (0297) 45-1111 (内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

議会だより

もくじ

- ①ページ 正副議長あいさつ
- ②ページ 各議員あいさつ
- ③ページ 請願・陳情執行状況

迎
春



初フライト（利根川河川敷）



十萬都市の基礎づくりに 積極対応を

守谷町議会副議長 皆川哲男

平成3年の年頭にあたり、町民の皆様に新春の御挨拶を申し上げます。昨年中は公私共に格別なる御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新庁舎も完成し、職員の一層の努力により、行政サービス水準の向上が期待されております。我々議員一同も立派な議事堂を建設していただき、厚くお礼を申し上げますとともに、

改めて責務の重大さに身の引き締まる思いであります。平成3年も解決しなければならない問題が山積しておりますが、とりわけ常磐新線に伴うまちづくりは重要な問題であります。幸い全町的組織であります「守谷町常磐新線協議会」も設立され、また、「守谷駅周辺地区整備事業地権者代表会議」においても種々検討が重ねられており、深く敬

意を表するものであります。これらの組織によって、よりよいまちづくりの計画が策定されるものと期待しております。

また、地権者の全面的な御協力により開発しました工業団地内の優良企業も操業を開始する運びとなり、まことに喜ばしいことであります。この他、稻戸井調節池総合開発事業、乙子高野土地

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、家族そろって元気に希望に満ちた新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

新年を迎えて改めて議長としての重責を痛感するとともに、新たな決意のもと、町民の御信頼と御期待に応えるべく、最善の努力をいたす所存であります。

顧みますと昨年は、町民待望の新庁舎が完成し、町のシンボルとして、また、町民のふれあいの場としてオープンいたしました。

また、昨年一年間を通じて、守谷町町制施行百周年記念事業が、町民の皆様の御協力により盛大に各種のイベントが催されましたことを厚く御礼申し上げます。十一月三日には、ドイツ連邦共和国マインブルク市のヨゼフ・エガー市長はじめ九名の皆様方をお迎えし、国際姉妹都市調印式が挙行され、今後、両市町民及び

両市町は、相互に友好と親善のきずなを深めることになりました。

本年は、常磐新線の整備主体となる第三セクターが



愛されるまちづくりを 明るく健康で

守谷町議会議長 大久保 隆司

の悪化が着実に表面化し、異常気象、酸性雨、農作物の被害拡大、砂漠化の促進等資源及び省エネルギー等が叫ばれており、ゴミ一つを例にとりましても、分別収集によるリサイクルやゴミをできるだけ少なくする施策が必要です。

また、人口の高齢化、国際化、高度情報化等に向

つあり、行政サービスも多種多様化しております。

このような時期にあたり、

生活環境の整備をはじめ、

健康の増進、福祉の充実、

産業の振興、教育文化の向

上、コミュニケーションの形成

及び国際交流の推進等に努

め、誰もが明るく健康な生

活が送れる愛される「まち」

の実現に、議員一同、力を

合わせ最善の努力をしてい

く覚悟であります。

町民の皆様の一層の御理

解と御協力をお願ひ申し上

げ年頭のごあいさつといった

します。

さらに、高齢化時代に向

けての福祉の充実や青少年

の健全育成、文化の振興、

農業生産基盤の整備、新市

街地と旧市街地の格差是正

等、十万都市の礎を築く課

題解決のため、議会議員が一致協力して取り組んでい

かなければなりません。

西暦二千年に向い、誰も

が住みよい豊かで快適な生

活環境を目指し、本年も尚

一層の努力をいたす所存で

あります。

また、議長の女房役とし

て微力ながら議会運営の円

滑化に努めて参る所存であ

りますので、本年もよろし

くお願い申し上げます。

新年にあたり



抱負の一端を申し上げます



が進められており、最も重要な時期であります。この、
ような時期にあたり、将来
に悔いを残すことのないよ
う、私は町民の皆様とともに
に考え、二十一世紀に向け
に「魅力ある街」、「住んでみ
たい」と誰もが思うような
まちづくりに努力します。

また、楽しく日常生活が
送れるよう、学習機会の増
設やスポーツ、レクリエー
ションの場の提供に若さと
元気力をもって邁進します。
皆様のご多幸ご健勝
をお祈り申し上げます。

中田孝太郎

明けましておめでとうご
ざいます。
新年を迎へ、抱負の一端
を申し述べ、皆様のご理解
とご協力を願い申し上げ
ます。現在、守谷町では常磐新
線に伴うまちづくりの検討
が進んでおります。

吉田 実

新春を爽やかにお迎えの
こととお慶び申し上げます。
昨年は町制施行百周年を
記念して、町のシンボルで
ある新庁舎のオープンをは
じめ、各種事業が推進され、
誠に目を見張るものがあり
ました。本年は、これらを
土台に将来をしっかりと見つ
め、諸計画の実現に力一杯
の努力を傾けて、皆様のご
期待にお応えすべく決意し
ております。常磐新線の早
期建設や駅周辺等の地域環
境整備、保健センター建設
等の生活環境整備、独立図
書館建設等の社会教育環境
整備 etc、いずれもあら
ゆる方面に拘りあいのある
重大な課題で、皆様のご理
解とご協力の中で取り組み、
着実に躍進の年としたいと
思っております。皆様のご
多幸とご健勝を併せてお祈
り申し上げご挨拶といたし
ます。

佐藤 弘子

から一家族十万円以上の消
費税負担となつてゐるなど、
ますます住民負担が増えて
います。臨調・行革による
福祉・教育がばさば切り
捨てられています。行政は
身軽になり、減量経営で金
がたまり、地方自治体で約
十兆円もあり、守谷町でも
かなりの財調になつていま
す。学校、図書館、公民館
建設が急がれています。コ
ミス、常磐新線を軸とした
駅前広場をはじめ、周辺開
発を含めた総合的計画が必
要であります。第三セクター
もいよいよ本決まりとなり、
ご支援をお願いいたします。

明けましておめでとうご
ざいます。
昨年は公私共にお世話を
なりました。世界的にも国
内的にも激動の一年でもあ
りました。イラク問題、自
衛隊の海外派兵新規立法の
問題、消費税が導入されて
います。

栗橋義三

輝かしい一九九一年の新
春を迎え、町民の皆様には
益々ご清祥のこととお慶び
申し上げます。
本年は町にとりまして念
願である常磐新線第三セク
ター設立に向け作業を進め
られておるところであります。
今後「常磐新線」に伴
うまちづくりの検討

大久保 進

明けましておめでとうご
ざいます。守谷町は常磐新
線を核として、新線と調和
ある町、文化の充実したり
ゾートの町をつくるべく努
力をいたしております。また、
近代都市にふさわしい
都市施設の充実も重要課題
であります。

小川一成

今年度中には発足の運びと
なる予定です。
今年は、守谷町がかつて
なかつたほどの歴史的事業
が本格的に動きだす節目の
年にあたります。この機に、
現状を踏まえ、将来を展望
し、守谷町百年の礎が誤り
なき様、共にチエを出し、
アセを流そうではありません
か。

明けましておめでとうご
ざいます。
守谷町の新しいまちづくり
は、常磐新線を軸とした
駅前広場をはじめ、周辺開
発を含めた総合的計画が必
要であります。第三セクター
もいよいよ本決まりとなり、
ご支援をお願いいたします。

椎名七生

明けましておめでとうご
ざいます。町民の皆様には
まさに希望に満ちた新春を
お迎えのこととお慶び申し
上げます。昨年は温かい御
支援を賜りました。行政の
拠点となる庁舎も落成し、
また町制百周年記念事業も
滞りなく終了し、本年はま
さに新しい一步を踏み出す
年であります。街づくりの
柱ともなる常磐新線、雑学
の中より生まれてくるであ
る文化的香り漂う街、そ
の拠点ともなる図書館、市
民会館の建設。教育、福祉、
住環境と環境資源を考え、
ゴミのリサイクル、水と緑
のある街づくりに頑張る覚
悟でございます。尚一層の
御支援をお願い申し上げま
して新年に当たっての抱負
といったします。

寺田 達

明けましておめでとうご
ざいます。
さて本年は旧庁舎跡地へ
の保健センター、役場支所
等の建設をはじめ、常磐新
線導人に伴うまちづくり、
これを軸とした駅周辺の多
機能的土地利用施策など、
大きな難題が山積しております。町内全般にわたる諸
行政に、私たち議会人は執
行者と協力のもとに、手際
よく行政需要に応えるべく
皆様方の御理解と御協力を
いただきながら、一層の努
力をしていく覚悟です。今
後一層の御指導を賜ります
ようお願い申し上げます。

西巻 健治

問われるものは一体何でしょ
うか。それこそ私は、人間
原点、人間中心の行政であ
ると思います。高齢化社会
へ向けての福祉政策、土地
問題を含めた住宅政策、紙
ゴミ医療廃棄物を含めたゴ
ミ問題、酸性雨や二酸化炭
素による環境問題等、どれ
も解決困難な問題ばかりで
す。その様々な問題の発想
の原点に今こそ人間を置いて
考えて考へねばならないと思
います。本年もこの基本に立
て活動して参りますので皆
様の御支援御指導を宜しく
お願い申し上げます。

松本明子



新年を迎える今年の抱負の一端を申し上げます。

天安門事件にはじまり、東欧の誤った社会主義崩壊による反共大宣伝の一年間であったと思います。しかし本来の社会主義が主張した八時間労働や有給休暇は現在も続けられており、科

大久保 通



年をかかっていると思います。常磐新線の周辺問題、学童保育や水道料金の値下げ運動等、住民の方々と共に運動を広げていきたと考えておりますので、本年もご支援の程お願いいたしま

浅野 進



一九九一年の新春を迎えて皆様のご健勝を心からお喜び申します。首都圏近郊都市として発展を続けております守谷町ですが、本年は常磐新線の具現化に伴うまちづくりはじめ、尚一層の努力が必

柳生 力



要とする年になると思われます。このような重要な時期を私は町民の皆様の御理解と御協力を得ながら住民福祉の向上のため、最善の努力をし、明るく健康で豊かな明日の実現を目指します。生活環境の整備、健康的なのが現況であるうと存じます。開発に伴う生活環境の地域格差問題や交通安全対策、さらに自然環境の保護など、早急に適切な施策を講じなければなりません。また常磐新線計画もよいよ実現化しつつあります。常磐新線核とした将来のまちづくりのため、しっかりと足固めをすべき時期でもあります。山積する行政課題の早期解決のため最大の努力を傾ける所存です。申し上げます。

倉持和夫



新年あけましておめでとうございます。暖かい心豊かな平成三年の初春にあたり、希望に満ちあふれる幸せを心からお慶び申し上げます。

豊島 清



新年明けましておめでとうございます。暖かい心豊かな平成三年の初春にあたり、希望に満ちあふれる幸せを心からお慶び申し上げます。

昨年は世界が多くの課題に直面し乗り越えており、日本国内も大きい躍進をしました。

新年度も年々多種多様化して、このように中で私は、常に町民の皆様の御意見を拝聴しながら、町民生活の向上、生活環境の整備化、高度情報化等により行政需要も年々増加高齢化、国際化へ入居も順調に進み、人口も急増しております。また、本年は待望の常磐新線も第三セクターの設立が具

須賀吉則



新年おめでとうございます。守谷町は年々人口が増加して、現在三万七千人をこなっています。しかし、人口の伸びは十万都市を目指す当町にとって絶対的な要素であっても、激増する人

して、いろいろな条件整備が行われて参りました。二十一世紀に向かって、さらには健康で明るい調和のとれたまちづくりをすることが、我々議員に課せられた責務であると考えます。与えられた責任と役割をしっかりと刻んで今年も頑張りますので、一層の御指導と御協力をお願ひいたします。

新年を迎えるに当たり、町民の皆様に謹んでお祝いを申し上げます。

昨年は公私共に大変お世話になりました心よりお礼を申し上げます。

さて本町も茨城の玄関と

して、いろいろな条件整備が行われて参りました。二十一世紀に向かって、さらには健康で明るい調和のとれたまちづくりをすることが、我々議員に課せられた責務であると考えます。与えられた責任と役割をしっかりと刻んで今年も頑張りますので、一層の御指導と御協力をお願ひいたします。

新年明けましておめでとうございます。守谷町は昨年町制施行百周年を迎え新年度への移転と、まさに大きな節目の第一歩を踏み出しました。財源として雇用問題の確保そのための工業団地の整備、利根左岸、常磐新線の計画発表

松丸照雄



等、二十一世紀に向けたまちづくりの基盤となる年を迎えたわけであります。特に、県南の核ともなる常磐新線の守谷町乗り入れの位置付け、それに伴う道路網の整備等、守谷町百年の大計が要求され、素早く向かって一つ一つ解決し邁進しなければならない年となるでしょう。本年も高度多様化する行政需要に応え、この地に住んでよかったといわれる、愛されるまちづくりの為、最善の努力を傾ける決意でありますのでよろしくお願い申し上げます。

中村 力



特に私は、図書館と障害者福祉センターの建設、そして体育施設を整備し、スポーツの振興を図ることが、今日急がれている課題ではないかと考えます。真のまちづくりは住民参加のもと、知恵とアイデアを出し合つてつくりあげていくものと私は皆様の意見をよく聞き、共に力を合わせて、魅力ある素晴らしい「まちづくり」のため頑張りますので、これまで同様あたたかいご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

議会だより

(3) 平成3年1月10日

特別委員会

常磐新線建設促進まちづくり対策

- ◎寺田 達
- 吉田 実
- 栗橋 義三
- 小川 一成
- 浅野 清
- 豊島 豊
- 倉持 和夫
- 中村 力

利根左岸対策

- ◎須賀 吉則
- 西巻 健治
- 中田孝太郎
- 佐藤 弘子
- 大久保 進
- 椎名 七生
- 松丸 照雄
- 皆川 哲男

建設

- ◎柳生 力
- 寺田 達
- 佐藤 弘子
- 大久保 進
- 小川 一成

産業経済

- ◎浅野 進
- 中田孝太郎
- 大久保 通
- 豊島 清
- 皆川 哲男

教育厚生

- ◎中村 力
- 椎名 七生
- 栗橋 松本
- 須賀 須賀
- 皆川 哲男

総務

- ◎倉持 和夫
- 西巻 吉田
- 松丸 照雄
- 大久保隆司

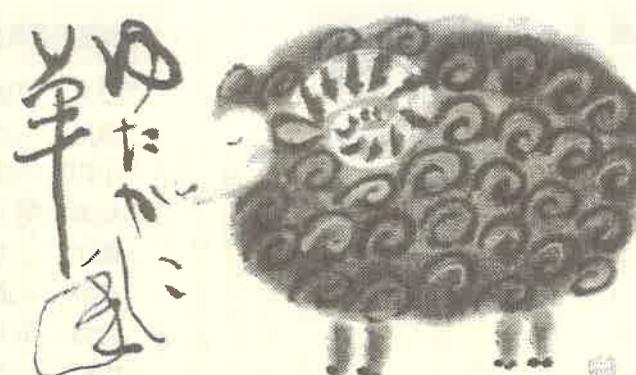
◎ 委員長
○ 副委員長

◎松丸 照雄
○豊島 清成
小川 一明
松本 明
柳生 和夫
浅野 倉持
中村 力

請願・陳情採択案件執行狀況

| 採択年月日 | 件 名 | 提出者 | 執行状況 |
|------------------------|------------------------------------|--|--|
| H 1. 12.20 (第4回定例会) | 地域商工業振興事業補助金助成に関する請願 | 守谷町大字守谷甲19 守谷町商工会会長 大久保信市 氏 | 執行済。 |
| " | 学童保育制度の導入を求める請願 | 守谷町みずき野1-12-18 岡田瑞穂 氏 | 学童保育を実施するにあたっては、まず、土地、建物が必要である。今後、必要性の高い地区から実施できるよう努力をしている。 |
| H 2. 3. 20 (第1回定例会) | 稲戸井調節池総合開発事業計画に伴う崖地の整備及び道路拡幅に関する請願 | 守谷町大字高野345 会田 隆 氏 ほか24名 | 建設省との話し合いでは、崖地周辺の測量を本年度中に行い、町道の拡幅等の問題や立木の保存等を検討し、できるかぎりの範囲で実施したいとのことである。 |
| " | 道路標識の設置を求める請願 | 守谷町松前台1-21-2 自治会長 鳥居善平 氏 | 警察との協議の上、交差点に道路表示を行った。 |
| " | 清水地区公民館隣接地の公共用地借用に関する請願 | 守谷町大字守谷甲2696-1 田中 登 氏 ほか232名 | 町議会、及び水道事業運営協議会に諮問をし、使用を許可している。 尚、給水人口の増加に伴う施設の増設の際には返却していただくよう条件を付している。 |
| " | 板戸井地内町道2362号線道路拡幅改良工事に関する陳情 | 守谷町大字板戸1921 寺田電治 氏 ほか17名 | 平成2年度に境界の立会い、路線測量等を実施し、用地買収が完了次第整備する計画である。 |
| " | 教職員の短い期間の療養休暇に対する代替教職員の配置を求める請願 | 取手市戸頭3-5-20 茨城県教職員組合稻北支部 北相馬班 婦人部長 篠田幸子 氏 ほか3129名 | 平成2年度茨城県市町村教育長会議において取手市北相馬郡教育委員会連絡協議会の要望として提出している。 |
| H 2. 6. 21 (第2回定例会) | 障害児(者)の為のセンター建設についての陳情 | 守谷町大字守谷甲861-6 守谷町心身障害児父母の会 会長 井出 恵 氏 ほか1481名 | 北守谷団地に隣接した町有地に建設する予定である。 |
| " | 暴走族追放都市宣言採択に関する陳情 | 守谷町松ヶ丘3-17-1 松ヶ丘三丁目町会長 櫻井文夫 氏 ほか2299名 | 暴走族追放については、昭和55年9月の定例議会において決議されており、町でも警察等の指導に基づき、暴走族追放に向、諸活動を実施してきたが、暴走族はあとをたたないのが現状であるので、今後も引き続き関係機関と連携を密にし、青少年の健全な育成と暴走族を許さない世論の形成及び暴走行為をさせない環境づくりに努力していきたい。 また、「都市宣言」については、関係課等と宣言に向け協議中である。 |

九年、推古天皇の時代に、百濟から二頭の羊が贈られたと、日本書紀に記されています。しかし、羊は乾燥した風土が好きなので、日本の気候に合わなかつたのでしよう。あまり繁殖しなかつたようですが、そのため、欧米のように譲りうるといわれています。



平成三年は未年です。羊は「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりもわたしたちが実感できるのは、ウールのセーターや皮製品の肌ざわりと温かさです。羊は紀元前六千年ごろ、家畜化されたといわれています。馬が家畜化されたのが、紀元前三千～四千年ごろですから、羊と人間の付き合いは、かなり長いことになります。日本には、羊にまつわる謡があまり多くありません。すぐに思いつくところで、は、「羊の皮を着た狼」「羊頭狗肉」くらいのものです。曲がりくねった山道を「羊腸」と表現しますが、これはちょっと古臭い感じがしますね。

では、なぜ羊に関する謡が少ないのでしょうか。ある。

政府は綿羊の飼育振興を試みましたが、それが失敗。その後、軍服などの製造のために、羊の飼育が奨励されました。また、戦後は農家の副業として、多いときは百万頭も飼育されていました。しかし、現在の飼育頭数は、北海道や東北などを中心に、三万七百頭ぐらいに過ぎません。最近では、全国各地で観光牧場などの整備が進み、子供たちが羊を見る機会は増えました。

今年は未年